

選挙人名簿登録者数
(令和7年12月1日定時登録現在)
 男 310,866名
 女 316,913名
 計 627,779名

過去のELECTIONは以下のQRコードから確認できます。(大田区のHPIに繋がります。)



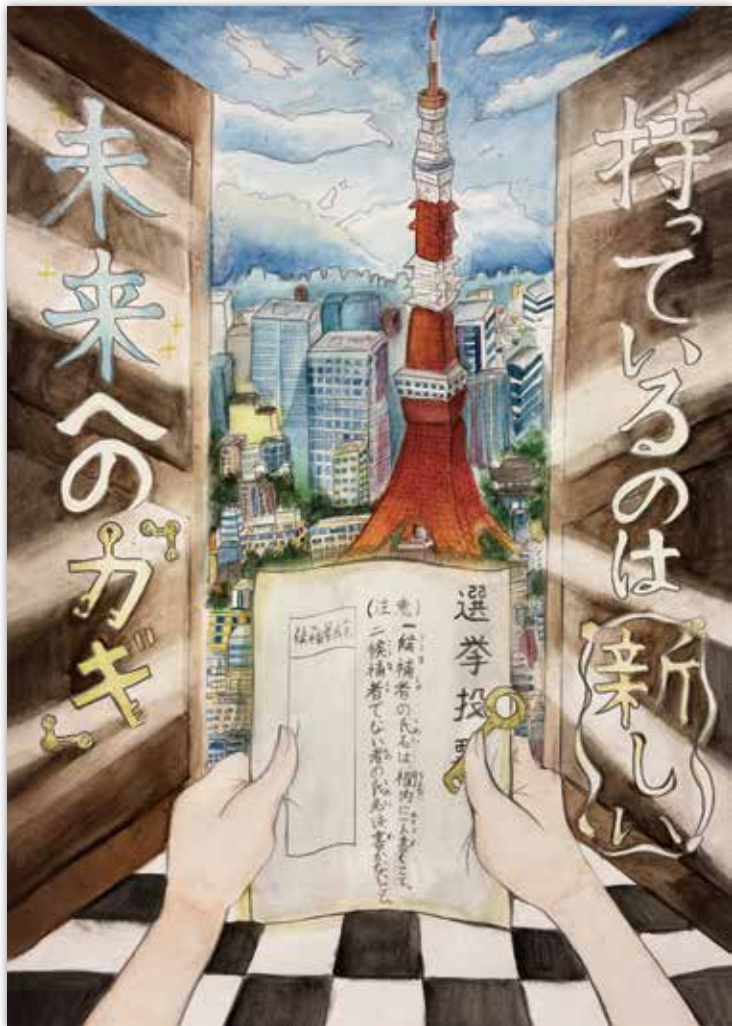
ELECTION

～せんきよ
《明選だより》～

ELECTION (エレクトション) とは、英語で「選挙」の意味です。

第77回 明るい選挙ポスターコンクール

**公益財団法人明るい選挙推進協会会長・
都道府県選挙管理委員会連合会会長賞**



小学校高学年の部 出雲小学校 6年生
 ながしま ゆい
 永嶋 結愛さん

毎年、総務省・都道府県・市区町村が将来の有権者である児童・生徒の選挙への関心を高め、政治意識の向上を図るために「明るい選挙」をテーマとしてポスター作品の募集をしています。
 令和7年度は、区内在住・在学の小・中学生・高校生から447作品の応募をいただきました。学校関係者の皆様方の多大なるご理解ご協力に心より感謝申し上げます。

第77回 明るい選挙ポスターコンクール



雷 熙さん
 小学校高学年の部
 東六郷小学校 4年

**東京都
 優秀賞**



高校生の部
 六郷工科高等学校 2年
 高橋 ことさん

東京都審査 入選



高校生の部
 美原高等学校 3年
 福島 栞さん



高校生の部
 六郷工科高等学校 2年
 桐田 松聖さん



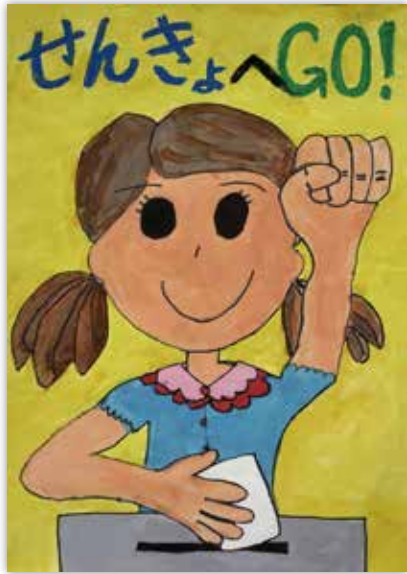
高校生の部
 六郷工科高等学校 2年
 川村 悠里さん



高校生の部
 六郷工科高等学校 2年
 中井 芽衣さん

第77回 明るい選挙ポスターコンクール

大田区明るい選挙推進協議会賞



小学校低学年の部
六郷小学校 1年
早川 実侖さん
はやかわ みれい



小学校高学年の部
大森第三小学校 6年
畠山 姫璃さん
はたけやま ひめり



中学生の部
大森第十中学校 2年
村瀬 結香さん
むらせ ゆいか



高校生の部
六郷工科高等学校 2年
イエーミヤマ ユンさん

皆さん、
受賞おめでとう！



6月22日執行東京都議会議員選挙及び 7月20日執行参議院議員選挙を振り返って感じたこと

投票管理者・立会人を務めてくださった方に、ご感想などを寄稿いただきました。(原則、原文のまま掲載しております。)

大森南自治会 茨田 洋子

6月22日(日) 東京都議会議員選挙

7月20日(日) 参議院議員選挙

両選挙の投票日の立会人を担当しました。

両日とも猛暑日にも関わらず、朝早い時間から投票所に足を運んでいただきました。

若い投票者の方やお子様連れの若いご家族がたくさんいらしたことに驚きました。

また、高齢者の方が一人で杖をついたり、家族に介助されながら投票されている姿を見ることができました。

立会人として投票された方、1人1人にご苦労様でしたと頭を下げながら声をかけています。

立会人は、投票所の開設から投票箱が閉鎖された後、開票所へ送られるまでの一連のプロセスに立ち会います。

長時間座りっぱなしで大変ですが、選挙人が安心して投票できる環境を整えることにこれからも努め、足を運んで下さった方々の思いを繋いでいきたいです。

大森西三都団地連合町会 齋藤 十四男

選挙日の立会人を10年ほど務め、5年ほど前より期日前の投票管理者として担当することとなりました。

自分が担当する朝、自分の中で投票人数の目安をつくりスタートします。まず会場では、来場される方が気持ちよく投票できるよう、明るく親しみやすい雰囲気づくりを心掛けました。一方で、一票の重みを忘れず、投票が厳正に行われるよう細心の注意を払ってきました。選挙は私たちの生活を形づくる大切な機会であり、それぞれの一票には大きな意味があります。その行為を大切に守ることが、管理者

としての務めだと思っています。また、投票所の運営は一人では成り立ちません。ともに働く立会人等の方々との連携を大切にしながら、円滑で公正な選挙の実現を目指してきました。

「人の為に明かりを灯せば、我が前明らかなり」

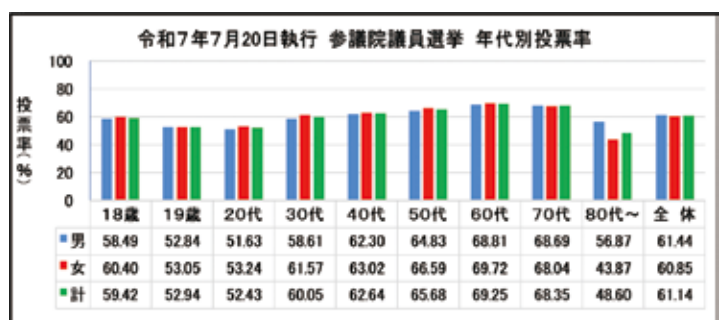
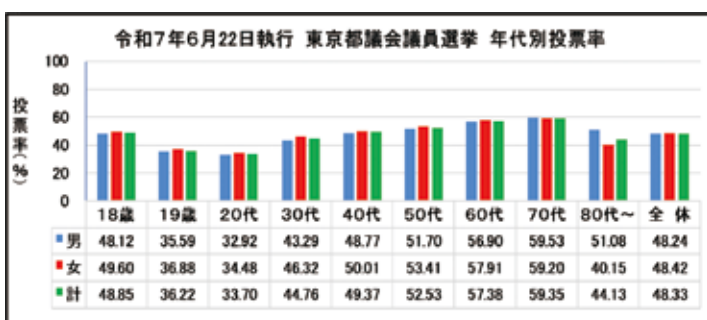
そんな言葉を大切にしながら

嶺町町会 古川 幹夫

令和7年7月17日(木)の参議院議員選挙期日前投票の立ち合いを引き受けた。私は、国政選挙、地方選挙を含めて過去10回程度の立ち合いを経験しているが、今回は投票に訪れる人の多さに驚いた。今までは、午後になると1時間で数十人程度の投票者数であったが、今回の選挙では午前中から投票者が多く、午後になってもその数が余り減らなかった。投票日は海の日を含んだ3連休の真ん中の日、何か政治的な企みを感じないわけではないが、有権者はそのような企みを見事に打ち砕き、2600万名という過去最大の事前投票数に至った。選挙での長年の課題は投票率のアップである。どのような理由で日曜日1日のみが投票日と定められたのかは知る由もないが、現状では、既に投票日ではなく投票週となっている。多忙な現代の有権者を考慮すると、特定の日曜日のみを投票日と定めるのではなく、1週間は何時でも投票所に行けるといって投票週に改める事により投票率は向上するのではないかと考えた次第である。

北糀谷町会 増子 敏子

期日前投票の立会人を午後から急遽お受けすることに成り初めての事なので何が何だか分からず控室で30分程待っていたらお声が掛りお席に着く事に、続々と投票に来て済ませて帰られて行くその様子をじっと見ていると知り合いの顔も何人かいて軽く会



釈する、そうしていると、ここにサインして下さいと担当の方が来てサインをする、これが私の仕事なのだを知る。何の為のサインなんなんだろうかと休憩時間に調べたら『投票録を作成した物に記載事項に間違いが無い場合投票立会人は署名する』とある。でも、間違いが有るか無いかどうやって検証するのかな？と疑問が残ったまま終わりを迎えた。どの選挙にしても準備から終わりまで、失敗が無いか不正が無いかを見守りながら大勢のスタッフで成り立っているのを痛感しました。またお声が掛れば次回はしっかり勉強して、もう一、二度はやってみたいなーと、好奇心旺盛な私は思いました。

調布大塚自治会 にた ゆうこ 仁田 優子

自分自身、明るい選挙管理委員会に携わっていなければ、選挙啓発活動がある事すら、知らなかったです。

初めて駅に於いて、一人一人に声掛けをし、私たちが豊かで幸せな生活をおくる事ができる為に、呼

びかける事が必要であると思いました。

いかに、政治と選挙に関心を持ってもらう事が、少なからず、啓発活動で伝わったのではないかと思います。

羽田大東町会 すずき しずこ 鈴木 静子

私は幼いころに選挙運動が始まると大人のひとたちがいろんな所で話し合いが始まり その背中を見て育ち 町会から推薦を受け推進委員なり三十数年その間にいろんな研修を受け 時代と共に啓発の仕方が変わり今では いろんな情報の時代ですが私は昔を思い ガーデンパーティー・地域の行事などに 参加をさせてもらいブースを出し ミニ選挙など 親子で参加してもらい 一緒になやみ一票いれていただきお話をし 楽しく笑いながらお話をし お子さん達がお父さん お母さんと一緒にできたことよろこびになり 大人は自分に与えられた一票を大事にしてほしいです

若年層立会人からの一言

めぐろ りょうへい 自黒 涼平

私は、学校で社会科の教員をしており、この経験を授業に役立てたいと思い、投票立会人に応募しました。投票立会人として選挙に携わって以来、投票した人としなかった人の違いについて、考え続けています。

投票立会人を務めた当日、私は、各地の不在者投票の封筒に何度も署名をし、投票を待つ長蛇の列を休憩のたびに眺めました。そして、途切れることのない投票を見守りながら、大勢の人が投票所に足を運んだように感じていました。しかし、投票率は6割ほどでした。

投票した人としなかった人の違いは何なのか。それを考えると、投票した人やしなかった人、あるいは投票できなかった人が、自分の考えを話すことが、選挙をより充実したものにするのではないかと感じます。

そしてそれは、学校の授業のように決められた状況ではなく、日々の暮らしの中で、誰かが話すことから始まるのだと思います。

投票した人もしなかった人も、あなたの考えを話してみませんか？

たけうち あやね 竹内 彩音

立会人の仕事は、どんな人が投票所に足を運ぶのかを1日かけて知ることができる貴重な機会だった。メディアでは「若者の政治離れ」が取り上げられているが、実際には子供を連れた若い夫婦や渋谷で見るとおしゃべりな若者も多く見かけられ、危惧されているほどの政治離れは肌では感じなかった。

選挙は一人一人の意見が年齢も階層も役職も関係なく平等に扱われるチャンスである。たとえ人口の比率的に若者の声が高齢者の声より届きにくいという変え難い現状があったとしても、投票しない理由にはしてはいけないと思う。選挙への参画は市民の権利だが、半分義務でもあるのではないかと。選挙を通じた発言は「意見」として扱われる一方で、選挙を介さずにSNSなどで不満を吐露することは「文句」に過ぎないからだ。自分の考えを価値あるものとして証明するには選挙に参画する必要があるだろう。平等な選挙権を得るためにどれだけの人の努力があったかという歴史を考えても、選挙権という現代の「当たり前」をおろそかにしてはいけない。

立会人の業務をしながらこのようなことを考えた。

大田区子どもガーデンパーティー

4月27日（日）に区内11会場で大田区子どもガーデンパーティーが開催されました。

大田区明るい選挙推進協議会は、平和島、馬込、萩中、矢口、蒲田西会場の5会場でキャラクター選挙などのブースを出展しました。



二十歳のつどい

1月12日（月）に大田区総合体育館において「二十歳のつどい」が開催され、大田区明るい選挙推進協議会もブースを出展いたしました。

昨年度に引き続き、「大田区のここが好き！総選挙」として、二十歳を迎えた皆さんに区内8つの名所の中から一番好きな場所を投票していただきました。

※候補地は、「二十歳のつどい運営委員会」に選定いただきました。

「大田区のここが好き！総選挙」開票結果

投票者数 201人

順位	候補者名	得票数
1	タイヤ公園	51
2	池上本門寺	43
3	大森ふるさとの浜辺公園	32
4	羽田イノベーションシティ	18
4	桜坂	18
6	屋上かまたえん	15
6	洗足池	15
8	穴守稻荷神社	5

※無効票 4票



編集委員

協議会副会長	福井 省三	(大森西地区)
//	片桐 義大	(嶺町地区)
//	横山 智恵子	(蒲田西地区)
協議会委員	岡本 勝子	(池上地区)
//	西條 誠一	(新井宿地区)
//	田中 延佳	(雪谷地区)
//	細田 泰昭	(糀谷地区)
//	岩崎 勝	(六郷地区)

発行 大田区明るい選挙推進協議会
大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1462